

各位

2024年10月25日
大栄不動産

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの実行について

当社は、株式会社あおぞら銀行(以下、「あおぞら銀行」)より「あおぞら ESG フレームワークローン」に基づくポジティブ・インパクト・ファイナンス(以下、「本件ローン」)を本日実行いたしました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス(以下「PIF」)は、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)(*1)が制定したポジティブ・インパクト金融原則(*2)に基づき、借入先企業の企業活動が環境、社会、経済にどのようなインパクト(影響)を与えるかを包括的に分析・評価し、ポジティブなインパクトの進展・拡大ないしはネガティブなインパクトの緩和・抑制を継続的に支援することを目的としたファイナンスです。

あおぞら銀行は2023年6月1日付で「あおぞらポジティブ・インパクト・ファイナンス」として、PIF 評価実施体制がポジティブ・インパクト金融原則に適合している旨のセカンドオピニオンを株式会社格付投資情報センター(R&I)より取得しています。

1. 本件ローンの概要

実行日	2024年10月25日
借入金額	20億円
借入期間	10年
資金用途	長期運転資金

2. 当社グループのサステナビリティについて

当社グループは、「社会に貢献し、お客様に必要とされる存在であり続ける」との企業理念のもと、「当社グループのサステナビリティ」と「社会のサステナビリティ」の調和を図り、企業価値の最大化を目指すことを経営の基本方針としています。

本件ローンの実行にあたっては、当社グループのサステナビリティ・ビジョンならびに重要課題(マテリアリティ)を中心に、事業活動に伴う社会的責任や、SDGs 達成に向けた貢献について、あおぞら銀行による分析・評価に基づき、後記の KPI を設定しています。



3. KPI

インパクト	目標	KPI	関連するSDGs
気候	・2030年度のCO2排出量原単位の削減率 2013年度比 30%削減 (Scope1,2) (単体)	・2030年度のCO2排出量原単位の削減率 2013年度比 (Scope1,2) (単体)	
雇用、包摂的で健全な経済	・育児休暇取得率(単体) 女性 100% 男性 50% ・健康診断受診率(単体) 100%	・育児休暇取得率(単体) ・健康診断受診率(単体)	

(*1)国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI):1972年に「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関。UNEP FIは、UNEPと200以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とESG(環境・社会・企業統治)への配慮を統合した金融システムへの転換を進めている。

(*2)ポジティブ・インパクト金融原則:UNEP FIが2017年1月に策定。企業がSDGsの達成への貢献をKPIで開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導く。融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認する。

以上

【本件に関するお問い合わせ】



大栄不動産 企画財務本部 経理財務部(財務チーム)
サステナビリティ推進委員会・事務局

☎ 03-3244-0655
☎ 03-3244-0537